

5月いよいよお楽しみ会

太陽の子保育園 2023年 5月号

こいのぼりが気持ちよさそうに泳ぐ、さわやかな季節になりました。新しいお友達も少しずつ保育園に慣れ、園庭でかけ回る姿がみられます。クラスも新しくなり、おともだちも交えて、泣いたり笑ったり。雰囲気の違いがクラスになっています。そしてぐんぐん成長するときですね。

5月はゴールデンウィークがあり、お出掛けの予定を立てているかとおもいますが、無理のない計画を立てて、たくさん楽しんでくださいね。

ハナジを引きだす3つのコツ

「どうだった？」と今日の出来事を聞いて話してくれない…。そんな悩みはありませんか？そこで、お子さんが答えやすくなる聞き方のコツを3つご紹介します。

コツ① 具体的な質問をする

「〇〇ちゃんと遊んだ？」
「お絵かきをした？」など、思い出しやすい聞き方に。

コツ② 質問攻めしない

たくさん聞きすぎると、プレッシャーを感じてしまうことも。

コツ③ 答えをせかさない

すぐに答えられなくても、話し出すまであせらず待ちましょう。

何よりも お母さんと話すのが楽しいと感じることが大切です。話してくれたときは、やさしく耳を傾けてあげてください。

たくさんほめてぐんぐん成長

子どもは、「ほめられる」と自信を持ち、頻繁にその行動ができるようになります。

ほめ方のポイント

- ・できるだけ早く（している最中・直後が好ましいです）
- ・視線をあわせて（笑顔を見せることが大切です）
- ・名前を呼んで（注意をひいて、しっかり伝えましょう）

こんなほめ言葉も

「すごいね！」「えらいね」以外にも、様々なほめ言葉があります。

- ・感謝する
「ひとりですてくてありがと」
- ・励ます
「もう少しだね。がんばれ！」
- ・気づいていることを知らせる
「ひとりですてくてありがと」

お子さんに合わせた言葉を見つけましょう。



かぜを治せない？かぜ薬

かぜをひいたとき、市販の薬や、病院で処方された薬を飲むことがあります。これらの薬は、せきや鼻水、くしゃみ、発熱などの症状をやわらげるためのもので、かぜの原因であるウイルスをやっつけるものではありません（抗インフルエンザウイルス薬を除く）。つまり、かぜ薬でかぜを治すことはできないのです。かぜを早く治したいなら、薬を飲むよりも、早めに休養をとることで、体を休めることで、ウイルスと戦う力を助けることができます。かぜ薬の役割をきちんと知って、じゃぶじゃぶに利用しましょう。

虫除けスプレー・かゆみ止め薬について

～「虫刺されの季節」の到来です～

当園では虫除けとして、レモングラスアロマの虫除けを使用しています。また、蚊に刺されてかゆがっているお子様には、市販のかゆみ止め薬「ムヒS」を塗布させていただいています。もし、体質的に「ムヒS」が合わないお子様は、担任までお申し出ください。



題字と手書きのイラストは、らいおん組さんにいただきました。

足に合った靴をえらびましょう

よちよち歩きの時期には…

足に合っていない靴を選ぶと…

足はもちろん、ヒザや腰の病気につながったり、内臓の働きに影響を与える事もあります。

足の健康は…

体や頭脳の発育のためにも重要です。

子どもの成長の段階によって、歩き方なども変わります。

土踏まちは3歳からできてきます。

子どものすこやかな成長のために、その時期に合わせた靴を選びましょう。

とことこ歩きの時期には…

履きやすく、甲部を適度に押さえるゴム紐

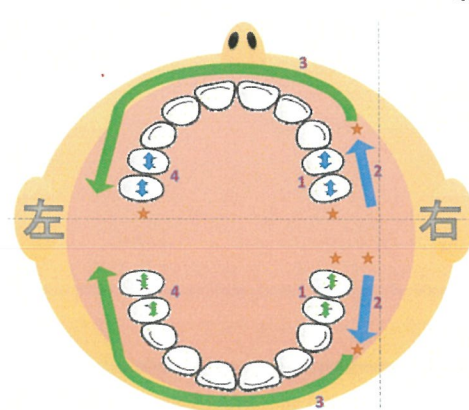
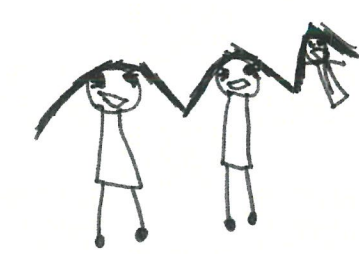
足のうしろ半分は骨の発育を守る硬いボックス構造

つま先を7～10mm程度のゆとり

かかとから2/3の所でソフトに曲がる

かかとのジン帯の緩急を踏むヒールスポンジ

歩行のショックを和らげ、滑りを防ぐゴム底



むし歯にいたくな～い！

今、くま組さんは、歯磨きを頑張っています。

月曜日は歯磨きの日。楽しくシャカシャカしています♪

みんなとても上手です！

「磨き残さない歯磨き」ができるように、同じ手順で磨いています。